

条例廃止

標茶町指定訪問介護事業所設置条例及び標茶町指定居宅介護事業所設置条例を廃止する条例

民間の介護事業所開設があつたことなどから、ふれあい交流センターにあつた町の介護事業所を廃止します。

条例改正

標茶町病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例

助産料一児につき8万円を出産時間によって13万円～15万円に改定しました。

また、各種診断書など各種手数料も現行手数料の1、6倍～2倍の料金に改定します。

* 条例改正案は、深見迪議員から反対討論があり、その後採決し、賛成多数で可決しました。

意見書

次の二件の意見書を国と北海道の各関係機関等に送付しました。

意見書第16号

「協同労働の協同組合法」(仮称)の速やかな制定を求める意見書

市民が出資して仕事をつくりだし、経営にも参画し、人と地域に役立つ仕事を生み出すことに取り組むのが「協同労働の協同組合」です。意見書は、この法制化を求めたものです。

意見書第17号

後期高齢者医療の資格証明書の扱いに関する意見書

75歳以上の高齢者に対し、安易に資格証明書を交

付し、国民保険証を取り上げるのではないようにし、国民皆保険の精神を生かした制度の運営を要望したものです。

選挙第2号

標茶町選挙管理委員及び同補充員の選挙

任期満了となるため、選挙管理委員、同補充員の選挙を行いました。

その結果、選挙管理委員には、藤田榮一、栗田ユリ、河野哲了、廣瀬龍彦の各氏、選挙管理委員補充員には、大沼良治、松本美代子、本田崇史、佐々木幹彦の各氏を選出されました。

委員会報告

産業建設委員会

足寄町において木質ペレットの調査を実施したの

で、その概要を報告する。

一、原料について

林地残材、製材工場からの残材を効果的に使用できるが、林地残材の有価による処分については、価格の安定が必要であり、森林整備と林地残材の連携を図る必要がある。

二、生産工場と供給体制について

工場建設については、NEDO等の助成制度を利用できるが、ペレット生産に伴い、安定した供給体制が必要であり、また、販売流通コストの低減が課題。

三、木質ペレットの普及について

ペレットを使用するためには、ペレットストーブやボイラーが必要であるが、25万円から60万円と高額である。環境省や北海道補助事業を足寄町では導入している。国産製品の品質向上や低価格燃焼機器の開発が必要。また、公共施設への木質ペレットボイラー導入や幅広い固定客の確保、さ

らには販路拡大を図ることが課題である。

四、雇用について

原木集荷、小割等に数人の短期雇用は見込めるが、工場の機械類は自動化が図られており、多くの雇用は望めない。

五、今後の課題

林地残材等の有効利用をするためには、地球温暖化防止と森林整備の役割をどのように理解してもらうかが、

二酸化炭素排出削減に向け、森林エネルギーの役割を明確にすることも今後の課題となるし、国から森林保有自治体への支援や森林保全を担う事業と人材育成も具体的に検討が必要である。また、伐採後の植樹や山地の残材整理に対する指導体制が急務である。

本町においても、ペレット導入については、林地残材の活用、二酸化炭素排出削減を図るために、公共施設への積極的活用、民間での活用方法について幅広い組織で検討を希望するものである。

第4回定例会 議会日記から

十月一日	山形県小国町行政視察来町
十月六日	広報調査特別委員会
十月七日	千葉県鴨川市行政視察来町
十月七日	広報調査特別委員会
十月十四日	議会運営委員会
十月十五日	広報調査特別委員会
十月十七日	広報調査特別委員会
十月二十三日	産業建設委員会
十月二十八日	平成19年度各会計
十月二十九日	決算審査特別委員会
十月二十八日	議会運営委員会
十月二十九日	第2回臨時会
十一月十三日	産業建設委員会
十一月二十五日	産業建設委員会
十一月二十六日	厚生文教委員会
十二月一日	総務委員会
十二月四日	釧路北部消防事務組合議会
十二月五日	川上郡衛生処理組合議会
十二月八日	議会運営委員会
十二月十日、十一日	第4回定例会

標茶町議会の会議録公開

標茶町議会の会議録の閲覧場所が増えました。従来の役場だけでなく、図書館、各公民館でも見ることができるようになりました。多くの町民のみな様にご覧になっていただきたく思います。



— 子育て支援センター「はじめての赤ちゃん和妈妈」 —

編集後記

平成21年を迎え早くも1ヶ月が過ぎました。昨年は世界的金融危機、景気の悪化と様々な先の見えない不安が続く中、昨年12月の第4回定例会におきましても引き続き低迷する景気に対する緊急経済対策などが含まれた補正予算を可決しました。

経済的には毎日のようにテレビや報道で暗いニュースが続く中、本町の商店街の中に昨年の暮から今年にかけて花火のイルミネーションが点灯し通りを通る人達の気持ちの中に明かりを照らしてくれました。今年、平成21年不安な年の初めではありますが町民皆様が明るく安心して暮らせる様、議員が一丸となり今後とも努力をして参りたいと思っております。

(小林 浩)